チャレンジ

旭川大学高等学校 ライセンスコースだより NO7(211) 2018.8.24

期末試験まであと10日

高校野球が人々の心を揺さぶるのは、プロ野球とはひと味違う感動を味わうことができるからではないか。旭大高の野球部も諦めない力いっぱいのプレーを見せてくれました。悲願の1勝を果たせなかったけど、人々に強い印象を残したはずです。

大事な試験

前期の成績を大きく左右する期末試験が9月4日から始まります。そろそろ具体的な学習に着手し始めた人も出始めた頃だと思います。みんなの意識の中にしっかりと試験の日程や重要性が押さえられているでしょうか。3年生は、今学期の成績は進路に直結するものとなります。進路実現のため必要な評定平均を確保する上でも、やるだけのことはやって本番を迎えてほしいものです。

自分の目標をもって3年間努力した生徒は、社会に出ても引き続き頑張ることができます。「3年生になって進路をなんとかしよう。」と考えるのはすでに手遅れです。学習、資格取得、出欠席、日常生活など1年生からできることを確実に積み重ねることが、2年、3年と進路実現に結びつきます。「赤点でなければいい……」という安易な考えにはならないと思います。

自分のために明確な目標をもって挑む期末試験としてもらいたい。

9月行事予定

3日(月) 校内選考会(指定校推薦)
9日(日) 全商英語実務検定試験
14日(金) 体育祭
18日(火) 校内選考会(大学公募推薦)
20日(木) 個別指導 ～25日
23日(日) 全商情報処理検定試験
26日(水) 前期終業式、大掃除
27日(木) 学期間休業 ～30日

「甲子園は月より遠い でも行くんだ」(第100回)

1972年の春、岐阜県立長良高校の選手だった竹市召一さん(62)は監督から言われた。人類初の月面着陸の3年後。全身が熱くなったのを覚えている。厳しい言葉もあった。「お前の定位置は3塁コーチだ」。代打として技を磨き、74年の春にはセンバツ出場を果たす。努力を怠らなければ、運さえよければ、月まで来られると知った。

第100回全国高校野球選手権大会は、21日大阪桐蔭の史上初の2度目の春夏連覇で幕を閉じました。

「人生に負けない。この悔しい気持ちをずっと持ち続けろ」「野球で結果を出す人間は一握りや。大事なんはこれから何十年と続く人生」。今年も監督たちがとっておきの言葉を敗れた球児らに贈っている。自分の限界を悟って悩む球児に監督が与える言葉は、人生を支える糧となりうる。

甲子園大会で初めて適用されたタイブレーク。佐久長聖(長野)と対戦。延長14回5対4で惜敗した。何度も勝ちがよぎり3時間を過ぎた緊迫の14回涙をのんだ。

100回の節目にふさわしいさまざまな感動を残して、球児たちの熱い夏が終わった。

前期期末試験時間割

	4日(火)			5日(水)		6日(木)			7日(金)		
	1	2	3	1	2	1	2	3	1	2	3
1年	数I	情報	生基	世史	簿記	国総	音楽	情処	英I	保健	
2年	数A	プロ		日史	簿記	現文	化基	音楽	英II	保健	ビ情
3年	数II	数B/プロ		現社	簿記	現文	生基/情管		英II	家庭	